



医療法人伯鳳会
大阪中央病院

「虹」

Vol.8

2022. 3月



特集

最新鋭のMRI・CTが導入されました！



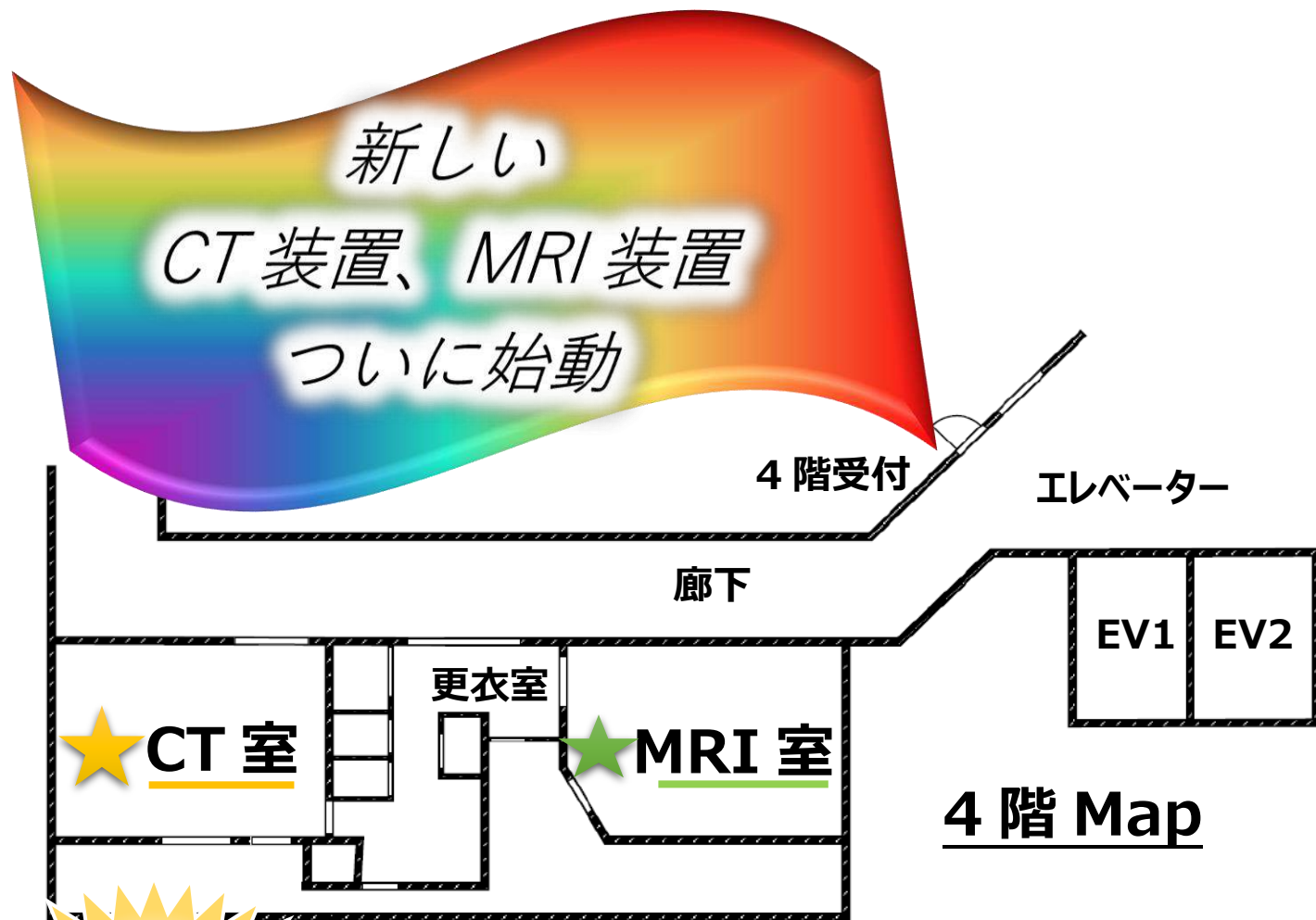
放射線科部長
森田 吉多佳

深遠なる画像ワールドへようこそ

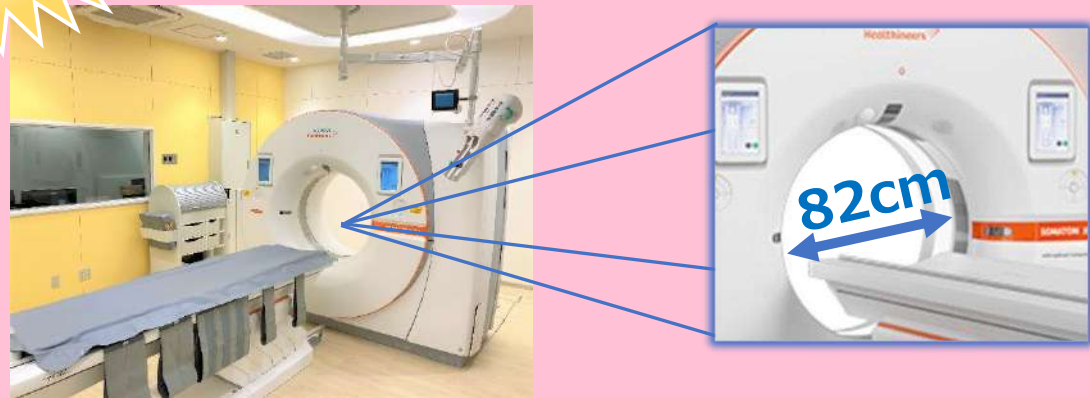
大阪やから
早い！ うまい！ 安い！
の3拍子そろってるんやろうな？



保険適応なので「安い」は無理ですが、
早い・うまい(上手い:画質がきれい)・間違いない(読影所見)
の3拍子はそろっています！



NEW
CT装置

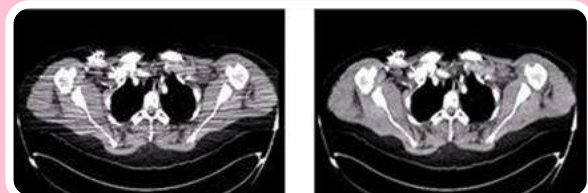


◎ 82cmの広い開口径

- 圧迫感なく、より快適に検査可能

◎ AI技術の搭載

- 各体格に応じた大幅な被ばくの低減が可能
- 患者さんごとに高い再現性が可能



NEW
MRI装置

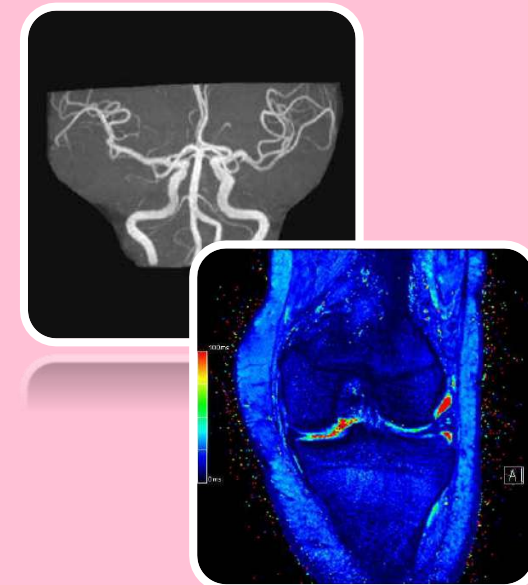
◎ 70cmの広い開口径

- 検査中の圧迫感を軽減
- 不安や不快感を軽減

◎ 撮影時間の短縮

◎ やさしい静かさ

- 従来と比較して騒音低減



◎ 分かりやすい案内表示

- コントラストのついた院内サイン
- ピクトグラム表示

◎ 抗ウイルス加工の更衣室

- SIAA取得建材を使用
- SIAA取得の手すりなどを配置
- 広々とした更衣室

◎ 盲導犬待機場所あり

- 検査中の待機場所を確保



新CT・MRI装置始動

当院は H12 年、ここ西梅田に移転し 13 階建ての都市型病院としてスタートしております。ただ、当時の様々な建築制限のために、CT・MRI 等の大型医療機器も 4 階に設置せざるを得ず、容易に機器の入れ替えが困難なため、約 20 年強の間バージョンアップを繰り返し機器の管理維持に努め、新しい機器に遜色無いように努めてきました。しかしこの度、約 6 カ月の長期の工事期間を要しましたが検査を中断する事無く無事に CT, MRI の入れ替えが完成しました。どちらも SIEMENS 社製で CT は SOMATOM x cite、MRI は 1.5T MAGNETOM ALtea が導入されております。CT は X 線被曝量低減が最も特徴で、検査時間も従来の機種より短くなりました。また AI 技術を駆使した最新の撮影で画像情報も格段に向上しています。MRI は穴の部分（ガントリー径）が広くなりトンネルの長さも短くなって圧迫感は相当解消しています。静音性も確保され、今までに比べて非常に快適になっています。こちらも最新 AI を駆使して、短い撮像時間でより高画質の画像の提供が出来るようになっております。

これからも放射線科一同、少ない侵襲で、臨床の現場に役立つ高い情報量の画質を提供していきたいと考えております。特に病診連携で CT・MRI のご依頼に関しては出来る限り御希望に沿って対応しますので、何なりとお気軽にご連絡いただければ幸いです。宜しくお願いいたします。放射線科部長 森田 吉多佳

【編集後記】

昨年 1 2 月から開始された MRI と CT の更新工事もやっと終了しました。

皆様にはご迷惑をおかけしましたが、最新装置での精密な検査という武器を手に入れ、ますます力強く医療での社会貢献を目指していきます。

病院レポート「虹」

2022 年 3 月発行 Vol.8

編集・発行

医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-30

TEL 06-4795-5505(代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域医療連携室

TEL 06-4795-5533(直通)

FAX 06-4795-5535(専用)

その車は、走る病院。

災害医療車「Medical-ConneX」メディカル・コネクス

医療法人 伯鳳会がコンセプトを描き、第一号車を導入した災害医療対応のモビリティ・ソリューション。

世界初(※)の免疫・生化学検査機器とCTを同時搭載し、COVID-19などの感染症にも対応が可能。

検査車両と電源車両からなり、水やエネルギーの外部補給も不要。

AI診断とITを駆使し、災害医療支援を即座に展開する。



※CT装置と生化学・免疫装置を同時搭載した移動型医療ソリューション。シーメンスヘルスケア調べ



病院ホームページ

#青いハートがあふれる社会を

医療をつなぎ、未来をつなぐ。多くの命を救うために。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



医療法人伯鳳会
大阪中央病院
HAKUHOKAI Osaka Central Hospital